

平成23年度第2回山内図書館利用者フォーラム 会議録

1. 日 時 平成23年12月13日(火) 14:00～16:00
2. 場 所 山内図書館集会室
3. 出席者 利用者フォーラムメンバー
千葉委員(代表)、貞廣委員(副代表)、片瀬委員、立石(正)委員、小野寺委員、岡嶋委員、立石(朝)委員、下田委員

事務局
内田グループ統括、荻野主任(有隣堂本部)
浜田館長、能川副館長、釜田主任
4. 案 件 (1) 山内図書館の平成22年度評価について
(2) 創立35周年記念イベントについて
(3) その他
5. 概 要 (1) 山内図書館の平成22年度評価について(浜田館長説明)
 - ①平成22年度横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書、平成22年度指定管理者セルフモニタリング評価書の説明
 - ②質疑応答・意見
 - Q. 評価は毎年行われるのか。
 - A. 毎年行う。総合評価は平成25年度に行われる予定。
 - ・【事務局より】未利用者へ向けたPR方法についてご意見・ご提案・情報等があれば伺いたい。
 - *他エリアのタウンニュースでは月1回のブックランキングを載せているところもある(書店のPR広告として情報提供)。
 - *区によってはタウンニュース紙面用に予算をとっているところもある(区民まつりPRなどに使用)。
 - *青葉区内では、「ビタミンママ」で子育て情報としておはなし会の予定を載せていたことがあった。
 - *東急(たまプラーザテラス等)との連携企画は有効だと思う。
 - *「あおぼみん」では、サイト内に山内図書館の新书推荐(月毎)、人気図書の蔵書状況などをする掲載コーナーを作り、図書館の利用度を上げたいと思っている。
 - Q. 貸出・予約データを分野年代で分けるなど、館別に細かくデータを取り利用者の動向を分析し、蔵書構成に活かしてはどうか。

A. 分野別の貸出数・予約数などは横浜市のデータとして公表しておらず、当館でも細かい分析はしていない。横浜市は18館の図書館が物流を伴って利用者に資料を提供しているため、1つの書誌に市全体で何冊の蔵書があり、何回貸し出されているかというデータの取りかたをしている。

蔵書構成に関しては、中央館で備える資料、北部4館で1冊程度備える資料、各地域館で持つべき資料等、さまざまな判断基準がある。また、当館の資料費の配分については、22年度は21年度までの配分を踏襲し、各分野への予算分けがされている。23年度は22年度の経験を踏まえて見直しを行っている。図書館は書店と異なり、利用の頻度は少なくとも所蔵の必要がある資料もある。ご指摘いただいたデータの取りかたは、一つの考え方として参考にさせていただき、選書にうまく活用できるかを考えていきたい。

(2) 創立35周年記念イベントについて（釜田主任説明）

①平成24年度自主企画事業案についての説明

②質疑応答・意見

Q. やまちゃんを描いている方はプロのイラストレーターなのか？

A. プロに有料で描いてもらっている。

- ・やまちゃんのイラストの掲載にあたり、著作権問題をクリアしていれば、タウンニュース紙面の少し空いたスペースに使うことが可能。図書館にとってもPRにつながるのではないかな。
- ・館内でのイベント告知をもっと派手にしてほしい。子ども向けイベントは子どもの目線で貼り出す等の工夫を。
- ・近隣の小学校の年間予定に合わせた開催日時を設定するとよいのではないかな。

(3) その他

①会議録について

今回より概要をホームページに公開していきたい。

②来年度の利用者フォーラムメンバーについて

役職変更などがない限り、現在のメンバーに引き続きお願いしたい。

→①②とも出席者全員が了承。

③質疑応答・意見続き

Q. 今後、図書館として「耳からの読書資料」として音読CDを置くということは考えているか。eBookなどのデジタル媒体導入に関して、図書館としてどう考えているか。

- A. CDが付いている本の出版は増えており、所蔵もあるが、CDのみの視聴覚資料は中央図書館で所蔵し、貸出をしていない。デジタル媒体に関しては、現時点では研究課題となっているところで、具体的に導入するところまではしていない。東京の千代田図書館等、導入しているところもあるが、山内図書館が単独でできるサービスではない。
- Q. 青葉台コミュニティハウスの蔵書は図書館で把握しているか。
(地区センターの蔵書は毎月報告している)
- A. 把握していない。(データ化されていない)
- Q. 職員の業務分担について、数年ごとに交替があれば誰に聞いてもわかるようになると思うが、その予定はあるか。
- A. 5年の指定管理期間では、今の担当が各々の担当業務を全うすることが重要であると思うが、交替の可能性がないわけではない。図書館業務は裾野が広く、細かいことは担当でないとわからないことも多いが、ある程度の情報共有はしていきたいと思っている。
- ・1年目は職員が全員入れ替わり、ボランティアも混乱したが、2年目に入りお互いを知るようになり、協力しあいながら充実した活動を行っている。地域の活動も助けてもらっていて感謝している。このようなソフトの部分の評価は、なかなか数字には出てこないが、実りある1年だったと実感している。今後も35周年に向けて図書館に協力していきたいと思っている。

6. 配布資料 会議次第、「平成22年度横浜市山内図書館指定管理者運営評価報告書」、「平成22年度指定管理者セルフモニタリング評価書」、平成24年度山内図書館自主企画事業について(案)

以上